

事業名	全国生涯学習フェスティバル
主管課及び関係課	生涯学習政策局生涯学習推進課（課長：芝田政之）
上位施策目標	施策目標 1 - 1 生涯を通じた学習機会の拡大
事業の概要	<p>生涯学習の一層の振興を図るため、平成元年から開催都道府県との共催により、民間の企業、団体、個人等の参加を得て、生涯学習に関する各種イベント・学習成果を発表するための場・講演会・シンポジウム等を集中的に実施している。</p> <p>事業は、 生涯学習に関するシンポジウム、フォーラム、講演等 芸術、芸能、スポーツ、レクリエーション等の展示、公演、イベント等 生涯学習見本市（全国の市町村や団体・企業等による展示） 生涯学習体験広場（工芸等の体験教室、イベントステージ等） で構成される。</p>
予算額及び事業開始年度	<p>平成16年度概算要求額：123百万円（平成15年度予算額123百万円） 総額：1,897百万円 事業開始年度：平成元年度</p>
必要性	<p>国民の生活水準の向上、自由時間の増大、高齢化の進展等、時代や社会が大きく変化していく中で、国民の誰もが生涯のいつでも、どこでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価されるような社会を実現することが重要である。</p> <p>とりわけ、生涯の各時期、各領域において、人々の学習意欲は増大するとともに多様化しており、こうした中で、生涯にわたって生き甲斐のある生活を送るために、日常生活の場で各種の学習・文化・スポーツ活動に親しみ、あるいは親しもうとする人々の意識が高まっている。</p> <p>また、「学習の成果を幅広く生かす（平成11年生涯学習審議会答申）」においても、「住民の自主的な活動へ意欲をどう引き出して、適切な活動の場をどう設けるか、参加を希望する人と求める人のマッチングが円滑・効果的に進められるよう、行政の枠を越えた総合的なシステムの構築が必要となる」としている。</p> <p>このため、広く国民一般が、日々の学習・文化・スポーツ活動を幅広く実践し、また、その成果を発表する場としての「生涯学習フェスティバル」を全国的規模で開催することにより、国民一般に生涯学習について考える機会を提供し、新たな生涯学習の在り方をさぐり、より多くの人々に生涯学習への参加意欲を促し、生涯学習のより一層の振興を図る必要がある。</p>
効率性	<p>国と地方公共団体とが共催して実施をすることにより、生涯学習に係る活動を実践する場を全国的な規模で提供できるだけでなく、開催県におけるその後の生涯学習の気運の盛り上がりにも寄与しており、効率的に実施されているといえる。</p> <p>また、大会運営において、開催都道府県のニーズが十分に配慮されるようにするとともに、過度の負担とならないよう、市町村、PTA、社会教育関係団体、経済団体、企業など、幅広い機関・人材が参画し、各団体がそれぞれの役割に応じ、連携を密にしながら、効果的かつ効率的な運営に配慮している。</p>
有効性	<p>得ようとする効果の把握の仕方（検証の手順）</p> <p>フェスティバル開催後に提出される報告書等により、フェスティバルの内容・有効性等について検証する。</p>
性	<p>得ようとする達成効果の達成見込みの判断の根拠（判断基準）</p> <p>当該事業の効果については、フェスティバル開催後に提出される報告書等により、開催県におけるその後の生涯学習の機運の高まり、機会の充実に寄与しているものと考えられることなどから、今後も、多くの人々に生涯学習への参加意欲を促し、全国的な生涯学習の振興に寄与するものと判断。</p> <p>< 報告書における調査例 > ・「まなびピア石川2002に会場して生涯学習に興味があったか」という質問に対し、「非常に興味があった」、「少し興味があった」が、アンケート回答者の84%を占めた。</p>

	<p>・「まなびピア石川2002への来場理由」については、「この催しの内容に興味があった」、「いろいろな学習の情報が欲しい」が、アンケート回答の60%を占めた。</p>	
公平性、優先性	<p>実施主体は実行委員会であり、国、県、市町村等の行政、PTA、社会教育関係団体、経済団体、企業など、幅広い機関・人材が参画し、公平性を担保している。 また、全国的な観点から、生涯学習の振興を図る必要があることから、全都道府県で実施することとしている。</p>	
得ようとする効果及び達成年度	<p>生涯学習フェスティバルの開催を契機に、生涯学習に関する各種イベント開催の増加、学習成果を発表する機会の拡大、生涯学習に関する民間活動組織の活性化等による地域の学習活動の充実を目指す。</p>	<p>達成年度</p> <p>最終的な達成時期は、事業終了予定の平成47年度のフェスティバル後であるが、定期的に5年ごとに達成効果を図っていく。</p>
事業継続の適否、改善点等の今後の政策への反映方針	<p>本事業においては、各都道府県における生涯学習の普及・啓発、全国規模での生涯学習の振興を目的としており、全都道府県において生涯学習の効果的な実施、ノウハウの獲得等を万遍なく普及する観点から、全都道府県における開催は必要不可欠である。 内閣官房による「生涯学習に関する世論調査」や、生涯学習フェスティバルにおけるアンケート調査によれば、生涯学習への参加意欲は促されてきている一方、生涯学習に関するイベントへの参加の年齢層のばらつき、生涯学習をする機会についての情報不足等の指摘がなされている。これらを踏まえ、今後は、生涯学習をする機会についての更なる情報提供に努め、生涯学習フェスティバル後の開催県におけるその後の生涯学習の機運の高まり、機会の充実等についても調査を行っていくべく、予算編成についても検討していきたい。 また、実行委員会における議論や、生涯学習に関する各種の調査を踏まえながら、さらに事業の効率的・効果的な推進をしていきたい。</p>	



生涯学習フェスティバル



[主催]

・文部科学省
 ・開催地都道府県・市町村
 ・生涯学習に関する団体等

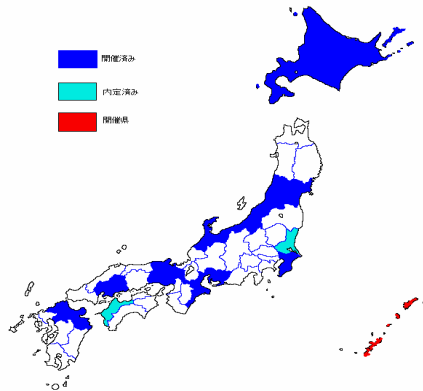
[事業内容]

・シンポジウム、フォーラム、講演等
 ・展示、公演、イベント等
 ・生涯学習見本市
 全国の市町村や団体・企業等による展示
 ・生涯学習体験広場
 工芸等の体験教室、イベントステージ等

[効果]

・生涯学習の機運の高まり
 ・学習成果を発表する機会の拡大
 ・生涯学習への参加意欲を促し、全国的な生涯学習の振興

**生涯を通じた
 学習機会の拡大**



- | | | | |
|----------|-----------|-----------|------------|
| 第1回 :千葉県 | 第6回 :富山県 | 第11回 :広島県 | < 今後開催予定 > |
| 第2回 :京都府 | 第7回 :北海道 | 第12回 :三重県 | 第16回 :愛媛県 |
| 第3回 :大分県 | 第8回 :福岡県 | 第13回 :山形県 | 第17回 :鳥取県 |
| 第4回 :宮城県 | 第9回 :新潟県 | 第14回 :石川県 | 第18回 :茨城県 |
| 第5回 :愛知県 | 第10回 :兵庫県 | 第15回 :沖縄県 | |